



【平成31年4月号】

清水小学校

校長 高井正樹

ピカピカの新1年生！



4月8日（月）、44名のピカピカの新1年生が、元気に入學してきて、平成31年度、全校児童308名の清水小学校の教育活動が、無事にスタートしました。新1年生たちは、初日とは思えないほどしっかりとした態度で式に臨んでいて、とても立派でした。

また、2～6年生たちも休み明けとは思えないほど落ち着いた態度で温かく新入生を迎え、素晴らしい入学式になりました。

キビキビの新6年生！

4月5日（金）、新学期の準備のため、新6年生が登校してきてくれました。

各学年の教室に新しい教科書を運んだり、1年生の教室の準備を手伝ったり、入学式を行う体育館の掃除や飾り付けをしたり……。わずかな時間でしたが、休むことなく次々と仕事をしてくれた新6年生は、清水小学校の最上級生になる意気込みが伝わってくる素晴らしい働きぶりでした。



また、入学式の次の日からは、朝の時間に1年生教室に行き、まだ学校に慣れていない1年生のために、お道具の準備や本の読み聞かせをしてくれています。

初めは新1年生を前にして緊張していた6年生たちですが、徐々にお兄さん、お姉さんらしさを発揮して、頼もしいかぎりです。

これから、さらに学校のリーダーとして活躍していてくれることでしょう！

入学・進級おめでとうございます

校長 清水 弘

今年度、本校は23名の新入生を迎えるとともに、6年生1名の転入生が加わり、全校児童135名でスタートしました。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

本校職員は、5名の転入と1名の復帰により21名です。

入学式は、ご来賓・保護者の皆様のご臨席をいただき、全校児童・職員とともに心温まる式となりました。式辞の後、三澤教育長様、西垣PTA会長様、そして、児童会長の大野文敬さんからもお祝いの言葉がありました。1年生の皆さんは、名前を呼ばれてしっかりと返事をしたり、元気に歌を歌ったりして式に臨むことができました。

翌朝からは6年生のお世話のもと、御影小学校での生活が始まります。毎日、楽しく元気に生活し、日々成長してくれることを期待しています。

2～6年生も進級した喜びと新たな抱負を胸に新学期を迎えました。子どもたちの元気な声が学校に響き、活気が戻りました。新6年生はリーダーとして活躍し、どの学年の子も自分の目標をもって更に力を伸ばしてくれることを願っています。

今年度の重点～表情豊かで、ひびき合って学ぶ石の子の育成～

今年度の本校の重点を上記のとおり、設定いたしました。教育のまち「しみず」の教育目標である『心響』の下、「ひびき合い」＝子どもたちが互いに「認め合い」「励まし合い」「高め合い」「協力し合い」など、よい影響をあたえ合ったり、切磋琢磨したりして学び、感性豊かに成長することを目指したいと思います。

また、「石の子」とは、「御影石」からきている表現であり、まさに御影石のごとく、子どもたちのよさや可能性を引き出し、磨き続けることにより、その輝きが増すことを願っています。

なお、本校の伝統である「3つの『あ』の運動」～「あいさつ」「あとかたづけ」「ありがとう」についても大切にして、しみず「教育の四季」に合わせ、みんなで取り組んでまいりたいと思います。

今後も、本校職員一丸となって鋭意努力してまいりますとともに、学校、家庭、地域が一体となって、「すべては子どもたちのために」を合言葉に歩んでまいりたいと思います。皆様のご理解・ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



「清水中学校，平成最後そして令和元年のスタート！」

教頭 須藤 正博

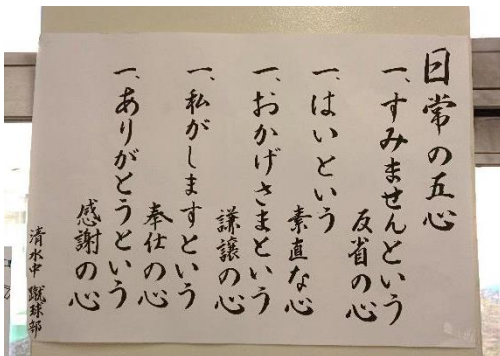
例年になく雪が少ない冬が過ぎ、55名の卒業生と退職の校長先生を始め多くの職員を送り出した3月が過ぎました。そして暖かな日差しに恵まれた4月、新たに40名の新入生と新しい校長先生、そして個性溢れる教職員を迎えることができました。

新体制での清中教育活動のスタートです。多くのメンバーが変わった職員室では「チーム清水」の教職員が「Be positive!」を合い言葉に、新しいメンバーとこれまで清中を支えてきたメンバーが質問したり、情報を交わしながら、新しい学校が生まれつつあります。本校の伝統を重んじながら、今年度も「感性あふれ、表情豊かに六華をまとう生徒」を育てていきます。

いつも生徒たちが様々な表情を浮かべながら通る生徒玄関前。ふと目をやると力強く金魚たちが泳いでいます。新入生を歓迎してくれているかのようです。ちょっと掃除を忘れて1週間もするとガラス面が



緑になります。E組の生徒たちは、この汚れに気付いて放課後等を使いながら水槽をきれいにしてくれます。水槽の中を元気に泳ぐ金魚たちはいつも清中の生徒たちの心を癒やしてくれます。E組の生徒たちよ。ありがとう。



更に、水槽が置かれた廊下には新入生を歓迎する部活動勧誘のポスターが貼られています。しかし、少し

様子が違うポスターが。「日常の五心」という清中蹴球部（サッカー部）のポスターが。勧誘はもちろんですが、素敵なしっかりとした字で書かれた内容は、サッカー部の日常生活の心構えを物語っているのですね。そんな言葉を掲示したサッカー部の皆さんはとてもすてきなと思います。

清水中の生徒たちの身の回りの整理整頓は、いろいろな機会にお褒めいただいているところ。新入生の靴箱の中も真新しい外靴がきれいに収納されています。さあ、これから始まる中学校生活は、この靴とともにどんなストーリーを繰り広げるのでしょうか。もちろん、楽しいことばかりではありませんが、清中生が何事にも真っ直ぐ向き合い、自分を鍛え、相手の気持ちを考えながら一歩一歩成長する姿を家庭や地域の皆様と協力しながら支えていきたいです。



「お金で買えないもの」を得よう

陽光がきらめき、草花の息吹とともに躍動感あふれる季節が訪れています。平成31年度の御影中学校は、22名の新1年生を迎え、全校生徒75名、教職員18名で希望に満ちた新学期をスタートさせました。今年度も教職員一同、子どもたちのために心を一つにし、様々な教育活動に全力で臨んでいきたいと思えます。

4月8日の入学式に全校生徒に『お金で買えないもの』という話しをしました。

『お金で買えないもの』とは次のようなことです。世の中には、お金で買える物と買えない物があります。お金では決して買えないもの。例えば、友人です。困ったときに助けてくれる、悩みも聞いてもくれる、うれしいときは、一緒に喜んでもらえる、素晴らしいもの。それは、友人です。この友達も決してお金では手に入れることはできません。

そして今ひとつ、お金では決して買えないもの、それは感動です。できないことができるようになった。解らないことが解るようになった、みんなで協力合せて体育祭を盛りあげた、みんなで一つになって文化祭を成功させた。

こうした、決してお金では手に入れることができないようなもの、それを手に入れることができるのも、学校という場です。

数多くの喜び、数多くの感動が皆さん方を待っています。お金では手に入れることができないものことこそ、一緒に頑張る手に入れていきましょう。

是非、平成31年度は御影中学校において「喜びや感動」が満ち溢れる、そんな学校になればと考えています。

校長 塚原 雄二



「つながり」の中で～総合学科第 22 回入学式を挙

校長 平 野 道 雄

新年度、5名の先生を迎えてスタート！

4月8日（月）の着任式と始業式で新年度がスタートしました。4月1日付けで着任された5名の先生を新たに迎え、ますます「進化する清水高校」になるよう、チーム清高として一丸となって取り組んでまいります。紙上で失礼しますが、着任者を写真右より順に紹介します。



- | | | |
|------------------|----------------|------------|
| ○佐野 直先生（農業科） | 書道部・茶道部の顧問 | ※前任は美唄尚栄高校 |
| ○岡田梨香湖先生（家庭・福祉科） | ソフトテニス部の顧問 | ※前任は北海高校 |
| ○秋元 正先生（地歴・公民科） | 陸上部の顧問 | ※前任は千歳高校 |
| ○長野 祐香先生（家庭・福祉科） | ボランティア部・新聞局の顧問 | ※前任は土別東高校 |
| ○佐藤 愛華先生（国語科） | 弓道部・図書局の顧問 | ※新卒 |

「その先」を問いかけて！総合学科第 23 回入学式を挙

4月9日（火）に本校体育館で入学式を挙行しました。阿部町長ほかご来賓や、たくさんの保護者の皆さまに参加いただき、107名の新入生が入学しました。

校長からは式辞の中で、本校が「その先」を今年度のキーワードに取り組むこと、「その先」の「その」に様々な活動を当てはめ、その意義や意味を問いかけること、そしてそのことが未来への指針になり、今を充実させることになること、などを話させていただきました。このことは、始業式で2・3年次生にも伝えたところです。

その後、新入生を代表して清水中出身の冨地球樹さんは、「年号が平成から令和に代わる象徴的な年、伝統を引き継ぎつつ、新しい時代の担い手として励むことを誓います」と立派に宣誓してくれました。



【新入生代表による宣誓】

地域の財産である生徒一人ひとりが、未来の地域を築く人材となって輝けるよう、我々も、使命感を新たに教育活動の充実に向けてまいりますので、今後ともご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

三日連続の学校行事の最後は対面式・部活動紹介

本校の年度初めの三日連続の行事の最後は、4月10日（水）に行われた対面式・部活動紹介です。始業式は2・3年次のみ、入学式は1年次のみなので、全生徒が揃っての最初の行事がこの対面式です。運営・進行はすべて生徒会執行部で行います。

今年の対面式では、新入生を代表して新得中出身の渡辺モモカさんが、「自慢の後輩になれるよう頑張ります。」と、先輩たちの前で堂々と決意表明しました。その後の生徒会企画は、クイズを通して体育館の中で1～3年次生が混じり合って交流するよう工夫された内容でした。



【生徒会企画での交流】

続けて行われた部活動紹介では、本校のような学校規模では全道を見ても比較的多い21部局が、実演したり、スライドや動画を使ったりと趣向を凝らし、新入部員の加入を呼びかけていました。できるだけ多くの生徒が部活動に入って、生き生きと活躍してくれることを

期待しています。

本校の部局（五十音順）

<運動系>アイスホッケー部、弓道部、サッカー部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、卓球部、ソフトテニス部、男子バスケットボール部、バドミントン部、野球部、陸上競技部

<文化系>演劇部、茶道部、書道部、新聞局、吹奏楽部、図書局、パソコン部、美術部、放送部、ボランティア部

清水幼稚園

園長 帰山孝美

第42回入園、進級式



天候に恵まれたなか第42回清水幼稚園入園式を行いました。12名の年少さんと1名の年長さんが保護者に手を引かれ、緊張と不安の中での入場でした。子どもたちにとって、初めての行事体験でしたが、式の最後まで椅子に座って良くがんばりました。

また、さくら組とばら組に進級した在園児のお話を聞く姿勢と態度は、本当に立派でした。話をする人の顔を見て、集中して聞き、あいさつや返事も大

きな声で出来ました。

11日には遊技場に積木やおもちゃの運びだしをさくら組とばら組の園児が頑張っていました。年少のたんぼ組さんは先生とお友達と仲良く遊ぶ姿がありました。今年度の活動が始まりました。



平成31年度 清水幼稚園の経営方針

◎園児目標

- げんきに あそぼう
- やさしい ところをもとう
- がんばって やりとげよう

◎目指す幼稚園像と教師像～開かれた幼稚園～

- 園児にとって楽しい幼稚園
- 保護者や地域に信頼される幼稚園
- 園児に慕われる教師

◎重点目標 <いきいき のびのび 子どもの笑顔あふれる幼稚園>

◎重点課題

- 家庭・地域と共に歩み共に進める開かれた幼稚園づくり
- にこにこ笑顔かがやき、あたたかくかかわりあえる力を育てる
- のびのび自分を発揮し、すくすくすこやかな心身を育てる
- いきいきとすべてにかかわりあえる豊かな環境づくりの充実



愛のあるしつけ6か条

- 1 早寝、早起き、朝ごはん
- 2 あいさつ；家の中は練習場、外は晴れ舞台
- 3 時間を守る
- 4 会話；目を見て、真剣に向き合って
- 5 良く遊ばせる
- 6 ルール、マナーを教える
—集団生活—

教育委員会

町内の子どもたちの姿をご覧ください

清水町は、「心響」を教育理念とし、しみず「教育の四季」を実践指標として、心を通わせ、互いに響き合う感性豊かな教育を推進しています。

「ちょっといい話」は、開かれた学校の取組の一環として、町内の幼稚園・保育所、小学校、中学校、高校の特色ある教育活動や子どもたちの頑張りや心温まるエピソード等を紹介するものです。

今年度もみなさま方に広く情報を発信して参りますので、ちょっと時間をさいてお読みいただければ幸いに存じます。

ご感想等がございましたら、下記Eメールにお寄せいただければ幸いです。

Eメール：sidoukan@town.shimizu.hokkaido.jp

(教育指導幹 福原幸江)



家庭・学校・地域が連携して町民総ぐるみで「12の窓」から
感性あふれ、表情豊かな子を育てる

春～さわやかな風の中で 元気に力強く

家庭・学校・地域

今月の取組

家庭は、行ってらっしゃい

背中に声かけ

地域は、子どもの安全

見守ろう